

平和の大切さを伝える絵本

ぞうれっしゃが やってきた

小出隆司・作 箕田源二郎・絵



今年「ぞうれっしゃ」70周年



2頭のぞうを守りぬいた人々の実話

太平洋せんそうがはげしくなり、やがて各地の動物園では、動物たちがつぎつぎところされていきました。

せんそうがおわったとき、日本で生きのこったのは東山の二頭のぞうだけでした。

1949年、このぞうをひとめ見たいとねがう子どもたちのために、とくべつれっしゃ「ぞうれっしゃ」がしたてられました。日本じゅうから子どもたちがぞくぞくと名古屋の東山動物園をおとずれたのです。

◎本体1,300円+税
5、6歳から/A4変型判/25×22cm/32頁



園長さんは、ぞうだけでも助けたいと、軍やけいざつに、なんどもたのみにゆきました。



はじめて、ぞうを見た子どもたちは、およろこびでした。

ぞうれっしゃとは？

戦後まもないころ、日本に二頭しかいなくなった、名古屋の東山動物園の象を貸してほしいと、東京都台東区子供議会の代表が来名しました。しかし、象の輸送は難しく、その願いは実現しませんでした。この事を知った国鉄は、特別列車(=ぞうれっしゃ)を仕立て、象を一目、見たいという子どもたちの夢をかなえてくれました。



学校・図書館様



※ご注文はお取引書店様へお願いします。

注文書	帖合・書店名印	申込数	<h1>ぞうれっしゃがやってきた</h1> <p>冊 ●ISBN978-4-265-91423-4 ●定価(本体1,300円+税)</p>		注文扱い・随時出荷 岩崎書店
	ご担当者様	取扱書店印			
	学校名・図書館名/お客様ご氏名				

岩崎書店

受注センター FAX 048-989-2322

【受注センター】埼玉県越谷市流通団地2-1-2
【本社営業部】東京都文京区水道1-9-2

TEL048-989-2321
TEL03-3812-9131